

この評価ソフトは、改正省エネ基準の経過措置が終わる2015年3月までの期間限定で使用できます。

CASBEE® 新築 [簡易版]

評価結果

■使用評価マニュアル: CASBEE-新築(簡易版)2010年追補版Ver.2(BPI/BEI対応) | 使用評価ソフト: CASBEE-NCb_2010bpi&bei(v.2.1)

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	H.L.N.A ZONE	階数	地上2F
建設地	大阪府吹田市千里万博公園23-170	構造	S造
用途地域	二種住居地域	平均居住人員	60,000 人
気候区分		年間使用時間	8,760 時間/年
建物用途	物販店,	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2015年10月 予定	評価の実施日	2016年8月26日
敷地面積	171,486 m ²	作成者	竹中工務店 浮田
建築面積	1,317 m ²	確認日	2016年8月29日
延床面積	2,208 m ²	確認者	竹中工務店 野口

外観パース等
図を貼り付けるときは
シートの保護を解除してください

2-1 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)	2-2 ライフサイクルCO ₂ (温暖化影響チャート)	2-3 大項目の評価(レーダーチャート)
<p>BEE = 1.3</p> <p>S: ★★★★★ A: ★★★★★ B+: ★★★★★ B: ★★★★★ C: ★</p> <p>標準計算</p> <p>①参照値 ②建築物の取組み ③上記+②以外の ④上記+</p> <p>このグラフは、LR3中の「地球温暖化への配慮」の内容を、一般的な建物(参照値)と比べたライフサイクルCO₂排出量の目安で示したものです</p>	<p>5★</p> <p>30%: ★★★★★ 60%: ★★★★★ 80%: ★★★★★ 100%: ★★★★★ 100%超: ★</p> <p>標準計算</p> <p>①参照値 ②建築物の取組み ③上記+②以外の ④上記+</p> <p>(kg-CO₂/年・m²)</p>	<p>Q2 サービス性能</p> <p>Q1 室内環境</p> <p>Q3 室外環境(敷地内)</p> <p>LR1 エネルギー</p> <p>LR2 資源・マテリアル</p> <p>LR3 敷地外環境</p>

2-4 中項目の評価(バーチャート)		
Q 環境品質		
<p>Q1 室内環境</p> <p>Q1のスコア= 3.2</p>	<p>Q2 サービス性能</p> <p>Q2のスコア= 3.3</p>	<p>Q3 室外環境(敷地内)</p> <p>Q3のスコア= 3.1</p>
LR 環境負荷低減性		
<p>LR1 エネルギー</p> <p>LR1のスコア= 3.6</p>	<p>LR2 資源・マテリアル</p> <p>LR2のスコア= 2.8</p>	<p>LR3 敷地外環境</p> <p>LR3のスコア= 3.6</p>

3 設計上の配慮事項		
総合		その他
複合型エンターテインメント施設として、多様なコンテンツ・多様な施設をつなぐデザインをコンセプトに掲げ、起伏に富んだ既存の敷地形状を活かした構成や法面の植栽を計画しています。		0
<p>Q1 室内環境</p> <ul style="list-style-type: none"> F★★★★をほぼ全面的に採用している 館内全体は禁煙としている 	<p>Q2 サービス性能</p> <ul style="list-style-type: none"> 建築物移動等円滑化基準の望ましいレベルを満たしている 重要度に応じた換気、空調設備の系統区分及び非常用発電機使用している 	<p>Q3 室外環境(敷地内)</p> <ul style="list-style-type: none"> 周辺のまちなみに調和させている 地域性への配慮、快適性の向上に比較的多くの取組みをしている
<p>LR1 エネルギー</p> <ul style="list-style-type: none"> 建物で消費されるエネルギーを把握するようにしている 	<p>LR2 資源・マテリアル</p> <ul style="list-style-type: none"> 節水型便器使用している 雨水システムを導入している 	<p>LR3 敷地外環境</p> <ul style="list-style-type: none"> 起伏に富んだ敷地形状を利用し、法面植栽を計画している 植生を調査し、敷地の植生にあった新植樹木を選定している 既存敷地内の樹木を移植し、再利用する

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)

■Q: Quality (建築物の環境品質)、L: Load (建築物の環境負荷)、LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性)、BEE: Building Environmental Efficiency (建築物の環境効率)

■「ライフサイクルCO₂」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと■評価対象のライフサイクルCO₂排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される

大阪府建築物環境配慮評価システム

大阪府の重点評価(結果)

Osakafu-新築・既存2010V1.0:

【建物概要】	建物名称	H.L.N.A ZONE		
	建設地	大阪府吹田市千里万博公園23-17の一部		
	用途/区分	物販店		
【評価結果】	CASBEE 総合評価			B+
	CO2削減			5
	省エネ対策			4
	みどり・ヒート アイランド対策			3
	エネルギー消費量の報告			報告しない

【評価項目】				
省エネルギー対策		① CO2削減		
		② 省エネ対策		
項目		評価内容	スコア	評価
① CO2削減		CASBEE「LR3-1」のスコアによる評価	5.0	5
② 省 エ ネ 対 策	外皮性能	CASBEE「Q1-2. 1. 3」のスコアによる評価	建物全体 3.0 住戸・宿泊	4
	建物の熱負荷抑制	CASBEE「LR1-1」のスコアによる評価	4.0	
	自然エネルギーの利用	CASBEE「LR1-2」のスコアによる評価	3.0	
	設備システムの高効率化	CASBEE「LR1-3」のスコアによる評価	4.3	
	効率的運用	CASBEE「LR1-4」のスコアによる評価	3.0	
	水資源保護	CASBEE「LR2-1」のスコアによる評価	3.8	
	エネルギー消費の実態把握に努める	エネルギー消費量の実績を3年間報告する。	報告する 報告しない	
みどり ヒートアイランド対策		③ みどり・ヒートアイランド対策		
項目		評価内容	スコア	評価
生物環境の保全と創出		CASBEE「Q3-1」のスコアによる評価	3.0	3
敷地内温熱環境の向上		CASBEE「Q3-3. 2」のスコアによる評価	2.0	
温熱環境悪化の改善		CASBEE「LR3-2. 2」のスコアによる評価	3.0	
その他				
先進的技術の導入	技術の名称		考慮事項	
特に配慮した事項				